

講義案内：A1A2 セメスター

4890-1041 GCL 講義 XI「国際制度とソーシャル ICT」

【担当講師】

- 田中 正躬 元 ISO 会長
藤野 仁三 東京理科大学専門職大学院・嘱託教授
福田 泰和 日本規格協会執行役員
田村 傑 経済産業研究所
岩垂 邦秀 日本規格協会（標準化研究センター研究員）

【概要】

工学系の学生が、将来、技術の利用や普及に際し直面する、国際的な調整や問題の発見・解決、将来の見通しに関する能力にみがきをかけ、世界のリーダーとして活躍する資質を育成します。国際制度は、条約によるもの、地域によるもの、国によるもの、自主的な集まりによるものなど、技術や社会の急速な進展により多様で複雑な形態をなしています。

本コースでは、国際標準に焦点を当て、科学技術、経済社会、制度の関係性と変遷、それらと係わる次のようなケースを取り上げ、議論、検討します。

- ・アップルとサムスンの知的財産権戦争
- ・危機に陥った日本発の技術（IC タグ等）
- ・技術ではトップを走る日本の鉄道技術が輸出で苦勞する理由など。
- ・標準は技術進歩の妨げになるか？
- ・中国は世界標準を支配できるか？

「評価」授業での議論への参加を主とする 期末に簡単なレポート

【本講義で習得できること】

国際標準で経済や社会を見る“視点”を習得出来ること 特に国際標準を中心とする国際制度を知ることで、国際的な調整能力、問題発見解決能力、将来見通しの能力に磨きをかけられること。

また 同時に実務的な知識として、標準と特許や WTO 制度との関係、国際標準の作成方法、多くの国際標準を作る組織の特性、研究開発と標準の関わり、標準の考え方をを用いて信頼性を付与したり、リスクの管理の仕方等を習得できます。

【講義タイトル】 …予定

- 9/26 田中 なぜ国際標準、知財等 国際制度が重要か？
10/3 岩垂 ビジネス戦略と国際制度との係り、知財制度と国際標準
10/10 藤野 事例研究 1（スマートフォン：標準化と知財戦略）
10/17 藤野 事例研究 2（標準必須特許をめぐる紛争事例）
10/24 田中 国際取引のルールと事業戦略
10/31 田村 経済学・経営学から見た標準 ①
11/7 田村 経済学・経営学から見た標準 ②
11/21 田中 (討論)中国は世界標準を支配できるか
11/28 福田 信頼を構築するための制度と国際標準
12/5 田中 社会インフラの輸出（新幹線）
12/12 岩垂 信頼構築の主体の変遷と多様化（民主化するマークとセキュリティ認証を事例にして）
12/19 福田 (まとめ・討論)国際標準の将来と国の政策

【参考書】

田中正躬 “国際標準の考え方：グローバル時代への新しい指針” 東京大学出版会 2017年

藤野仁三 “知的財産と標準化戦略” 八朔社 2015年

※講義内容は変更することがあります。